

# 音 楽 科 学 習 指 導 案

広島市立〇〇中学校  
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成23年11月〇日 (〇)
- 2 場 所 第1音楽室
- 3 学年・組 2学年〇組
- 4 題 材 曲の構成を知覚し、曲想とのかかわりを味わってみよう
- 5 教 材 「交響曲第5番ハ短調作品67」 ベートーヴェン作曲  
「ファンタジア2000」 ディズニー作品
- 6 題材の目標  
動機の反復と2つの主題の対比について感じ取り、曲想とのかかわりを理解し、根拠をもって批評する。
- 7 題材について

## (題材及び教材観)

本題材は、B鑑賞(1)アにある「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」をねらいとしている。

「交響曲第5番ハ短調作品67」は古典派を代表する、最初の動機の部分は誰もが一度は耳にしたことのある有名な作品である。その動機が反復・変化・発展していく様子が大変分かりやすく、2つの主題の対比や曲想とのかかわりなどの曲の構成を理解させることができる題材である。

## (生徒観)

本校の生徒は、比較的読譜力も高く、これまでの学習能力は高いように思われる。指導教員としての立場上、授業参観を通してしかかかわることができないが、明朗快活な生徒が多く、発言も積極的である。また7月に行われた合唱祭においても、指揮者や伴奏者、パートリーダーの指示のもと、自主的に練習が行われ、素晴らしい合唱を聴かせてくれた。しかし、本学級に限らず、旋律のまとまりや曲の構成に自ら気付いて表現することのできる生徒は約1割程度にとどまっている。

## (指導観)

本題材の学習の前に、生徒は「夏の日」で反復・変化・発展していく曲の構成を学習し、グループごとに旋律のまとまりを考えながら創作(旋律づくり)を行っている。

指導に当たっては、その学習を踏まえ、交響曲の代表作である「交響曲第5番ハ短調作品67」を鑑賞し、まず動機を取り出してピアノで演奏することを通して、動機の繰り返しによる展開や曲想とのかかわりについて理解を深めさせていきたい。次に2つの主題の対比といった楽曲としての構成について話し合い活動を取り入れることを通して、根拠をもって批評し、表現活動へと結び付けていきたいと考えている。

8 評価の規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
題材の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている構造と曲想とのかかわりに関心を持ち、主体的に鑑賞しようとしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている構造と曲想とのかかわりを理解し、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞している</li> </ul>
学習活動における評価規準	<p>① 動機の反復と2つの主題の対比を感じ取って、鑑賞しようとしている</p> <p>② 音楽を形づくっている構造と曲想とのかかわりに関心を持ち、主体的に鑑賞しようとしている</p>	<p>① 動機の反復と2つの主題の対比を理解しながら、鑑賞しようとしている</p> <p>② 音楽を形づくっている構造と曲想とのかかわりを理解し、根拠をもって批評し、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞している</p>

9 指導計画と評価の計画

時間	☆ねらい ○学習内容	評価規準 (評価方法)	共通事項
第1時 (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">☆動機の反復と2つの主題の対比について感じ取ろう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動機の反復を理解する               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動機のリズムの演奏を聴く</li> <li>・ ピアノによる動機の演奏を聴く</li> <li>・ 作曲者、曲名を理解する</li> </ul> </li> <li>○ 第1主題と第2主題の対比を聴き比べる</li> <li>○ 「ディズニー映画 ファンタジア2000」を鑑賞する</li> <li>○ 交響曲第5番第1楽章を鑑賞する</li> </ul>	<p>【ア①エ①】 (観察・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成</li> <li>・ 形式</li> </ul>
第2時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">☆曲想とのかかわりを理解し、音楽のよさや美しさを味わおう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ベートーヴェンについて理解する</li> <li>○ 第4楽章を鑑賞し、第1楽章の動機の発展の様子を感じ取り、どのような感じがするのかを話し合う</li> </ul>	<p>【ア②エ②】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成</li> <li>・ 形式</li> </ul>

時間	☆ねらい ○学習内容	評価規準, 評価方法	共通事項
第2時	○ 発表し, まとめる ○ 批評文を書くことを通して, 音楽の要素と曲想とのかかわりを感じ取る	【ア②エ②】	

1 0 本時の目標

動機の反復と2つの主題の対比について理解し, 感じ取る。

1 1 本時の授業展開

☆ねらい ○学習内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法) ☆共通事項
☆動機の反復と2つの主題の対比について感じ取ろう		
1 本時のねらいについて知る  2 動機の反復を理解する ・動機のリズムの演奏を聴く ・ピアノでの動機の演奏を聴く ・作曲者, 曲名を理解する  3 「ディズニー映画 ファンタジア2000」を鑑賞する ・チョウがでてくる場面 ・2枚の羽根 ・チョウの大きさ 等	・反復によってどのような効果があるのかを考えさせる  ・動機の反復, 2つの主題の対比について聴くポイントをしぼらせる  ・動機の反復, 2つの主題の対比に気付かせる	【ア①エ①】 (観察・ワークシート) ☆形式 ☆構成
予想される生徒の反応 (動機について) ・2つの音でできている ・同じことの繰り返し ・扉をたたく感じ	予想される生徒の反応 (2つの主題について) ・なめらかな感じ ・同じことの繰り返し ・明るい感じ	
評価Aと判断される具体例: 動機の反復, 2つの主題の対比について理解し, 感じ取ろうとしている  評価Cと判断される生徒への指導の手だて: ワークシートに示された部分を指し示し, 気付かせ, 正しい理解を促す		
4 「交響曲第5番ハ短調作品67」を鑑賞する	・本時のねらい(動機の反復・2つの主題)を考えながら鑑賞するように留意させる	